



なは市民の友

第714号 毎月1回発行
2010年(平成22年)
7月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷 桧池宮商会

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人 2010(平成22)年5月末現在	
総人口	317,983(2,119)
男	153,460(1,075)
女	164,523(1,044)
世帯数	135,468(1,282)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	95,442
真和志	104,360
首 里	58,010
小 緑	58,052



「私のごみゼロ宣言」入賞者のみなさん



ごみゼロ きれいなまち那覇へ

主な紙面

- みんなの暮らしにもっとみどりを！
「美ら島沖縄総体2010」いよいよ開幕！
夏休みを遊ぼう！学ぼう！楽しもう！
夏休みイベント情報!!
- 情報PACK
6 7 4 5 3 2

「私のごみゼロ宣言」表彰式・
「ごみ減量推進呼びかけ
クリーンアップ大作戦」出発式

5月28日(金)、「私のごみゼロ宣言」表彰式・「ごみ減量推進呼びかけ、クリーンアップ大作戦」出発式が県庁前の県民広場で行われ、市民や事業者へごみの減量・資源化の啓発および環境美化の強化を呼びかけました。

このイベントは、5月30日(日)の「ごみゼロの日」にちなんで実施され、会場では市民が取り組んでいるごみの減量方法などを宣言する「私のごみゼロ宣言」の表彰式が行われました。

最優秀賞を受賞した神谷優子(かみや ゆうこ)さんは「私は子どもたちと廃油で石けんをつくるなどごみ減量に取り組んでいます。この子たちが大人になっても自然にごみ減量に取り組めると嬉しいです」とごみ減量への取り組みを紹介しました。

表彰式終了後、「ごみ減量推進呼びかけ、クリーンアップ大作戦」が行われ、県内企業やNPO団体、沖縄プロレスのみなさんにもご協力いただき、ごみ減量・資源化を呼びかけるチラシ配布と、国際通りの清掃を行いました。

市は、市内のごみ排出量を平成23年までに平成10年度比30%削減を目標に、ごみ減量に取り組んでいます。

平成21年度は、みなさまのご協力のおかげで、平成10年度比で28.6%の削減ができました。これからもごみ減量へのご理解・ご協力を宜しく願います。

協働のまちづくり なはを紡ぐ

6月4日(金)、なは市民協働大学がスタートしました。昨年度の「なは市民大学」では、市長講話をとおして、市の推進する協働の理念を説明してきました。今年度の「なは市民協働大学」は、この協働の理念をもとに、それぞれの地域で活動する人材を育て、まちづくりの実践につなげていくことが目的です。

冒頭、翁長市長は講話を行い、目指す協働への想いを集約した言葉として、市長宛のはがきから「いい暮らしより、楽しい暮らし」との言葉を紹介しました。また個々の暮らしの豊かさの追求から、市民一人ひとりが互いを支え合い、市民が幸福を実感できるように、まちづくりへの第一歩として、「全国的に協働の理念が掲げられる中で、その実践への取り組みは進展していないのが実情です。今自分のできることをそれぞれの地域で実践し、実践を通じた交流の中で、それが実践の連携の輪となり、さらにその輪が広がり、那覇の協働によるまちづくりが展開されていくことを願っています」と、市民協働大学にかける想いを語りました。

さらに、協働によるまちづくりのモデル事業として、「小学校区単位のコミュニティづくり事

なは市民 協働大学開校

業」を紹介しました。今年度は、石嶺小学校区と与儀小学校区をモデル地区に指定し、校区内で実践されている活動を、連携の絆で結び、校区全体が一体となったコミュニティづくりを目指します。

講話に続いて、公募で集まった10代から80代までの幅広い年齢層の52人の受講生に、市長・両副市長が加わり、交流ゲームにより、参加者相互の親交を深めました。インタビュゲームでは、講座への参加動機について、「住みよい、心地よいまちづくりをめざして」や、「市民もできることをやらなければならない」との思いからなど、まちづくりに対する意気込みが受講生から示されました。

なは市民協働大学は、来年度の2月まで計13回開催され、所定の基準を満たした修了者には、終了証が交付されます。



みんなで大きな輪をつくらう



「協働」とは、まちづくりのために市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。